札幌市の商業施設で情報発信＆町産物販売

１０月２３日と２４日の２日間、商業施設「マルヤマクラス」（札幌市中央区）で「タンチョウがはこぶ　ながぬま秋の恵みマルシェ」が開催されました。

このイベントは今年で３年目となる取組で、町が取り組む「タンチョウも住めるまちづくり」を札幌市でＰＲするため、ながぬま温泉や町内の農業者、木工作家の方々に参加いただき、タンチョウをモチーフとした羊羹「双鶴と雪」やロゴマークが入った木工品など、タンチョウにちなんだ商品と農産物を販売しました。

２日間でおよそ１，０００名の来場者を迎え、町の魅力を存分にＰＲするイベントとなりました。

火災予防絵画コンクールで優秀賞

１０月２５日、令和３年度南空知消防組合火災予防絵画コンクールの表彰式が、長沼小学校で行われました。

これは、南空知消防組合が火災予防の普及啓発を目的に、小学１年生から３年生を対象に行っているもので、今年は３名の作品が応募され、木村幸人さん（２年）の作品が見事優秀賞に選ばれ、山本支署長から木村さんへ表彰状とトロフィーが手渡されました。

木村さんに消防車を描いた感想を尋ねたところ、「ホースのところを描くのが難しかったです」と話されました。

まちづくりに役立てて　国際ソロプチミスト北広島

１０月２５日、認証３０周年を記念し、まちづくり全般に役立てていただきたいと国際ソロプチミスト北広島（渋谷則子会長）から３０万円のご寄附がありました。

渋谷会長は「新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、なかなか記念行事なども行いにくい状況ですが、少しでもまちづくりのお役に立てば幸いです」と話されました。

全国を代表して堂々発表　ながぬま緑の少年団

１０月２８日、ながぬま緑の少年団（山本隆幸代表）の皆さんが、同月１０日に札幌市で開催された「第４４回全国育樹祭」の報告に、町長室を訪れました。

同少年団の清水夏綺さん（１３区）と谷口友望さん（２２区）は、記念式典で全国の緑の少年団を代表して発表を行い、谷　満貴さん（５区）と溝　想介さん（宮下区）は、宮廷と会場をつなぎ、オンラインで秋篠宮皇嗣殿下・同妃殿下と２０分ほど交流され、これまでの植樹活動などを伝えられました。

そのほか、令和３年度全国緑の少年団活動発表大会では、道内でも初となる全国育樹祭大会会長賞を受賞するなど、素晴らしい成績を収められました。

育樹祭の様子などは、動画共有サイト「ＹｏｕＴｕｂｅ」で配信されていますのでぜひご覧ください。

社会貢献で感謝状　北土建設㈱　草野作工㈱

１１月４日、齋藤町長から北土建設㈱と草野作工㈱へ、感謝状が贈呈されました。

この感謝状は、北土建設㈱が石狩川改修補償工事のうち道道札幌夕張線移設ほか一連工事の一環として、図書館駐車場のライン塗装を、草野作工㈱が石狩川改修工事のうち舞鶴築堤西７線下流盛土工事の一環として、町道西９線の視線誘導標補修を、それぞれ自発的に実施し、安全で安心な生活環境の形成に多大な貢献をされたことによるものです。

北土建設㈱

草野作工㈱

ピアノコンクールで全国大会へ

１１月５日、伊藤あいらさん（あかね町区）が１２月に東京都で行われる第３１回日本クラシック音楽コンクールの全国大会に、中川璃子さん（２８区）、柴田結叶（ゆかな）さん（錦町区）が同じく１２月に広島県で行われる第１５回ベーテン音楽コンクールの全国大会にそれぞれ出場が決定し、出場報告のため町長室を訪れました。

３人は、それぞれ意気込みを語り、齋藤町長からも激励の言葉がかけられました。

【大会成績】

伊藤さん：中学校女子の部　　優秀賞
中川さん：小学５・６年生の部　優秀賞
柴田さん：小学１・２年生の部　優秀賞

左から
中川さん、柴田さん、伊藤さん、永岡さん（指導者）

タンチョウも住めるまちづくりモニターツアーを開催

１１月６日と２０日、タンチョウの観察マナーを伝えつつ、舞鶴遊水地を観光資源として活用するためのモニターツアーが、北海道中央バス㈱シィービーツアーズカンパニーと町の連携事業として開催され、延べ29名の観光客が舞鶴遊水地を訪れました。

観光客を案内するのは、今年「長沼タンチョウ・ガイド講座」を受講したガイドの皆さんで、これまでの講義で得た知識をいかし、観光客に楽しんでもらえるよう工夫して案内されました。

観光客の皆さんは、舞鶴遊水地のほかにもファームレストランでの食事やマオイ文学台からの田園風景などを満喫し、タンチョウをモチーフとした甘酒やトマトジュースなどのお土産を手に、長沼を後にしました。